

取扱説明書

この取扱説明書は、安全にご使用いただくために重要な警告および注意事項、取扱い方法について記載しています。ご使用前に、必ずお読みになり、十分理解してからご使用ください。本書はすぐに確認できる場所に大切に保管してください。

The English version is Printed on the back page.

■エアブラシ



HP-TH/TH2

この取扱説明書に示された警告事項および注意事項は必ず守ってください。
 使用時に不用意に色材が噴出したり、有機溶剤の吸引により重大な身体上の障害を起こすことがあります。
 ▲印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。

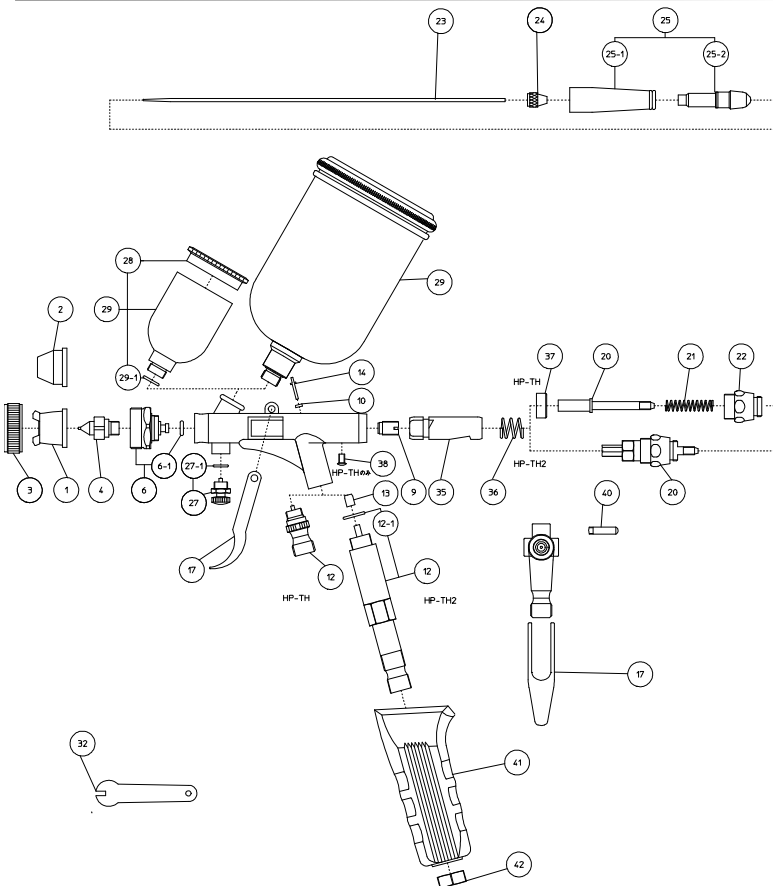
警告	警告内容を怠った場合、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定されることを示します。
注意	注意内容を怠った場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生する可能性が想定されることを示します。
重要	機械の性能や機能を十分に発揮してお使いいただくために守っていただきたい内容を示しています。 尚、本取扱説明書で示す安全事項は、必要最低限のものであります。 国や自治体の消防、電気、安全関連の法規、規則、またそれぞれの企業や事業所で規則、規定として守るべき事項に従ってください。

■ 主要仕様

形式	色材供給方式	噴霧方式	ノズル口径 φ【mm】	容器容量 【ml】	最高吹付圧力 【MPa】	備考
HP-TH	重力式	平吹き(丸吹き)	0.5	15	0.2	丸吹き・平吹きキャップ 専用スパナ付属
HP-TH2			0.6	130		

空気調節ツマミで空気噴出量が調整できます。

■ 部品構成



部品名称

No.	品名	TH	TH2
1	エアークャップ (平フキ)	□	■
2	エアークャップ (丸フキ)	□	■
3	キャップリング	□	■
4	ノズル	□	■
6	ヘッド	□	■
6-1	ヘッドOリング	△	△
9	ニードルパッキンネジ	△	△
10	ピストンOリング	□	■
12	エアバルブセット	□	■
12-1	ジョイントOリング	□	■
13	ジョイントスリーブ		■
14	バルブプロット	□	■
17	トリガー	△	△
20	ニードルチャック (セット)	□	■
21	ニードルパネ	□	
22	スプリングケース	□	
23	ニードル	□	■
24	ニードルトメネジ	△	△
25	プリセットキャップセット	△	△
25-1	プリセットキャップ	△	△
25-2	プリセットハンドル	△	△
27	クウキリョウチョウセイツマミ	△	△
27-1	Oリング	△	△
28	カップフタ	□	
29	センターボトル	□	■
29-1	Oリング	□	
32	スパナ	□	■
35	スライドカム	△	△
36	スライドカムパネ	△	△
37	ドウタイリング	□	
38	ドウタイリングトメネジ	□	
40	トリガー止めネジ	△	△
41	グリップ		■
42	グリップ止めネジ		■

◎開封時、破損や欠品がないことを確認してください。

◎欠品、輸送上の損傷がある場合は、危険防止のため使用せず、お買い求めになった販売店または当社支店・営業所までご連絡ください。

◆ 印は、消耗部品です。

△ 印は共通部品を示します。

□■印は専用部品を示します。

■ 安全にご使用頂くための警告事項

⚠ 警告

火災と爆発

- 吹付作業場は、火気厳禁。
 - 色材は引火性があり火災の危険性があります。
(ラッカー、セラックスワニスなどの有機溶剤系)
 - たばこ、点火、電気機器等、引火の恐れがあるものは、必ず避けた所でご使用ください。
- 次のハロゲン化炭化水素系溶剤は使用しない。
化学反応により、本体（アルミニウム部分）にクラック、溶解が発生します。
不適合溶剤：塩化メチル、塩化エチル、二塩化メチレン、二塩化エチレン、四塩化炭素、トリクロロエチレン、1.1.1トリクロロエタン 等（特殊な色材やシンナーは充分適合性を検討した上でご使用ください。適合性検討のための材質リストを提出する用意があります。）



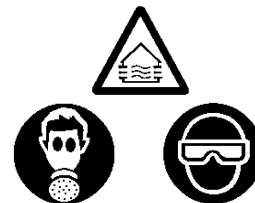
機器誤用

- ネイルアート、ボディアート等の専用色材で吹き付けする用途以外、人体や動物に向けて絶対にスプレーしない。目や皮膚の炎症、人体への危険があります。
- 最高吹付圧力以上でのご使用は絶対に避けてください。エアブラシが破損・破裂し非常に危険です。
- 洗浄、分解、保守作業をする前および作業中断時は、必ず色材と空気の圧力を逃がす。圧力が残っていると、誤動作、洗浄液の飛散により人体に危険があります。圧力を逃がす方法はエアブラシへの圧縮空気の供給を停止し、トリガーを軽く引くことにより行います。



人体保護

- 吹付作業は、換気扇等を使用し換気の良いところで使用。換気が不十分ですと色材の吸い込みによる健康障害や引火の危険が増えます。
- 常に適切な服装または保護具を着用。(眼鏡、マスク、手袋)
目や皮膚に洗浄液等がつき炎症を起こします。目や皮膚に異常を感じたら直ちに医師の治療を受けてください。



その他

- 製品の改造はしない。十分な性能が発揮できないばかりか故障の原因となります。
- 食品用や化学薬品用には使用しない。色材通路内部の腐食による事故発生や異物混入による健康障害の可能性あります。

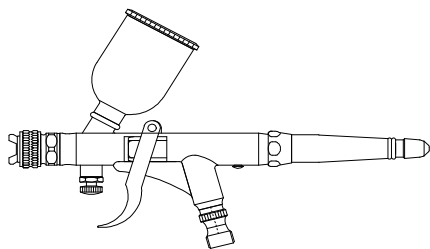
■ 使用方法

● 接続方法

⚠ 注意

- エアフィルタを通した圧縮空気を使用してください。作業に使用する空気が汚れていると吹付不良を起こします。
- 購入後初めてご使用になる際は、色材通路内部の防錆油を取り除くため、洗浄液を吹き内部の洗浄を行ってください。
- エアホース、色材容器は、エアブラシにしっかりと固定してください。
エアホースの外れ、容器の落下により、人体に傷害を起こす可能性があります。

- エアホースは、エアブラシ専用の細いホースを使用してください。Φ4×φ6mmチューブ(HPA-BH32)等
- 吹付圧力は、0.10～0.20MPaにて使用します。一定圧力の空気を取り出すためには空気減圧弁、空気圧縮機から出る水、油、塵埃を除去するためにはエアフィルタを使用してください。
※ HP-TH は、HPA-LJ(ロングジョイント)と一緒にご使用いただくとグリップ感が向上します。



別売り
option

エアホース
air hose

空気減圧弁
air regulator

エアフィルタ
air filter

空気圧縮機
air compressor

●吹付方法

重 要

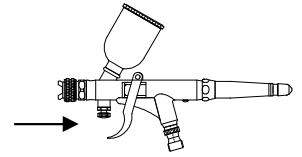
- ・ノズルが詰まることがありますので、色材を細かい紙で充分ろ過してから使用してください。
- ・ノズルキャップ、ノズルの内径には、絶対キズを付けないでください。噴霧状態が悪くなる原因となります。
- ・種類の異なる色材(例:塗料と染料)を混ぜると色材の粘度が上がリ、吹付不能となりますのでご注意ください。

1) 使用前にニードル止めネジをゆるめ、ニードルがノズルに当たるまで静かに押し込み、ニードル止めネジを再び締めておきます。洗浄液をカップに入れ、色材通路を洗浄してください。

2) 塗料容器に色材または塗料を入れ、試し吹きを行い空気量、塗料噴出量、パターン幅を調節します。

～調節方法～

- 吹付空気圧力は塗料の粘度、性質により異なりますが、概略0.1～0.15MPa [1.0～1.5kgf/cm²]の範囲に設定します。
- 吹付距離は平吹き100～200mm、丸吹き1～200mm範囲でできるだけ近づけて塗装してください。



トリガーを引くとまずエアーが吐出し、その後色材が噴出します。

■ 保守・点検

●保守

⚠ 警 告

- ・安全にご使用いただくための警告事項の機器誤用3項に従い、エアーの圧力を完全に逃がしてから作業してください。圧力が残っていると、誤動作、洗浄液の飛散により人体に危険があります。
- ・十分理解され、熟達された方が行ってください。

保守時の作業手順	重 要
1. 残った色材または塗料を他の容器に移した後、塗料通路及びエアーキャップセットの洗浄を行います。塗料通路の洗浄は少量の洗浄液またはシンナーを吹き付けて行います。	1. 洗浄不良はパターン形状や粒子の不具合の原因となります。
2. ニードルを引き抜き、付着物を取り除きます。洗浄後はニードルがノズルに当たるまで戻します。 ・各部の洗浄は、洗浄液で浸したブラシで行い、ウエス等で拭き取ります。	2. エアーブラシ全体をシンナー等の液の中に浸さないでください。長時間浸漬した場合、構成部品の損傷の原因となります。なお、洗浄時にはエアーキャップ、塗料ノズルの各噴出穴及びニードルは絶対にキズを付けないでください。
3. 分解する前には塗料通路内部を充分洗浄します。	3. 塗料ノズルを外す時は、シート部保護のため引金を引き、ニードルを引いた状態で行ってください。塗料ノズル先端V溝部は落下やぶついで変形させないように充分に注意してください。また、逆に塗料ノズルの先端で手指を傷付けないよう充分に注意してください。

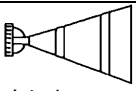
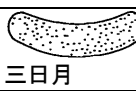
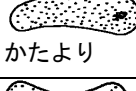
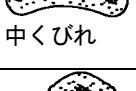

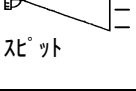
●点検

点 検 箇 所	部 品 交 換 基 準
1. キャップおよびノズルの各穴の通路	・つぶれ、変形がある場合
2. パッキン、リング類	・変形、摩耗の場合
3. ノズル、ニードル間のシート 漏れ	・ノズル、ニードルの洗浄を十分行っても、漏れがある場合交換 ・ノズル交換の際、ノズル専用スパナを使い、加減しながら適度に締め付けてください。他の工具の使用は、ネジ折れや芯狂いの原因となります。

●故障と対策

状 況	発生箇所	チェック箇所	原 因	対 策			
				締 め 増 し	対 調 整	洗 浄	部 品 交 換
色材漏れ	エアーブラシ 先端部	ノズル ～ ニードル	シート面のゴミ・キズ・摩耗			○	○
			ノズル締め付け不適	○			
		ニードルバネ ～ スプリングケース	ニードルバネのヘタリ				○
			ニードルパッキンネジのゆるみ	○			
		ニードル ～ ニードルパッキンネジ	ニードルへの色材固着によるニードル 戻り不良		○	○	
	ニードル ～ ニードル止めネジ	ニードル止めネジのゆるみ	○				
トリガー部	ニードルパッキン	ニードルパッキンのキズ、摩耗				○	
	ニードルパッキンネジ	ニードルパッキンネジのゆるみ	○				
色材出ず	エアーブラシ 先端	ノズル	穴の詰り、ゴミ、固着		○		
		ニードル止めネジ	ゆるみ	○			
		エアーキャップ	内部の汚れ			○	
		ニードル	先端色材固着			○	

●不具合パターンと対策

パターン	原因	対策
 息切れ	1) ノズルと本体のテーパーシート間より空気が混入。 2) カップセット取付口よりの空気の混入。	1) ノズルを外し、シート部を清掃した上で再度取付けてください。尚、シート部にキズがある場合は塗料ノズルを交換してください。 2) 取付口の締付けを確かめ完全にしてください。
 三日月	1) 角孔 {キャップ 先端の角部分(突起部)にあいている孔} に塗料等の固形物が詰まり両角孔からの空気の強さが異なる。	1) 角孔の固形物を除去してください。この際、掃除用ブラシを使用し金属類のものは使用しないでください。
 かたより	1) ノズルの外周及びエアークャップ中心に固形物が付着している。又はキズがある。 2) ノズルの取付が悪い。	1) ゴミ・固形物が付着している場合は、除去してください。又、キズがある場合は、その部品を交換してください。 2) ノズルを外し、シート部を清掃した上で再度取付けてください。
 中くびれ	1) 塗料粘度が低すぎる。 2) 塗料噴出量が多すぎる。	1) 塗料原液を追加し、粘度を高目に調整してください。 2) プリセットハンドルを右に回し噴出量を少なくしてください。
 中高	1) 塗料粘度が高すぎる。 2) 塗料噴出量が少なすぎる。	1) うすめ液を追加し粘度を低目に調整してください。 2) プリセットハンドルを左に回し噴出量を多くしてください。
 スィット	1) ノズル・ニードルのシート不良。 2) 一段吹き(空気のみ噴出)代の減少。 3) エアークャップ内部の塗料汚れ。	1) 洗浄又は、ノズル・ニードルのセット交換をしてください。 2) エアークャップの洗浄をしてください。

■ 保証と修理サービス

- ・保証期間は、お買いあげの日から5年です。
- ・万一、故障の場合は、お買いあげの販売店または当社支店・営業所までご連絡ください。保証期間中は、無償修理いたします。
- ・本製品の故障または不具合に伴う生産補償、営業補償など二次損失に対する補償は致しませんのでご了承願います。
- ・次の場合は保証期間内でもお客様のご負担(有償)になります。
 - ・取扱説明書の注意事項を守られなかったことによる故障および損傷
 - ・お客様の取扱上の不注意による故障および損傷
 - ・消耗品の交換・修理
 - ・天災、地震、火災、地震、水害、塩害、落雷、公害などによる故障および損傷
 - ・純正部品以外の部品が使用されている場合
 - ・指定の修理店以外による修理がなされている場合
- ・保証は日本国内においてのみ有効です。This Warranty is valid only in japan.

【お問い合わせ窓口】

- ◆ 修理・保守に関するお問い合わせ
当社支店・営業所、もしくはご購入いただいた(お問い合わせ先は当社ホームページをご確認ください)
- ◆ 技術的なお問い合わせ、ご意見、ご希望など当社支店・営業所又はお客様相談室までご連絡下さい。
(支店・営業所のお問い合わせ先は当社ホームページをご確認ください)

お客様相談室

フリーダイヤル
 : 0800-100-1926

※携帯電話・PHS からもご利用いただけます。
 (受付時間:月～金 9:00～12:00 / 13:00～17:00 土日・祝日・弊社指定休日を除く)

※ 上記のお問い合わせ先は変更される場合がございますので、最新のお問い合わせ先につきましては当社ホームページをご覧ください。

INSTRUCTION MANUAL (For Overseas Sales)

PROFESSIONAL AIRBRUSH



HP-TH, TH2

Be sure to observe warnings, cautions and instructions in this instruction manual. Inadvertent jetting of paint or inhalation of organic solvents can cause serious bodily injury. Be sure to observe important items especially those shown by the marks below.

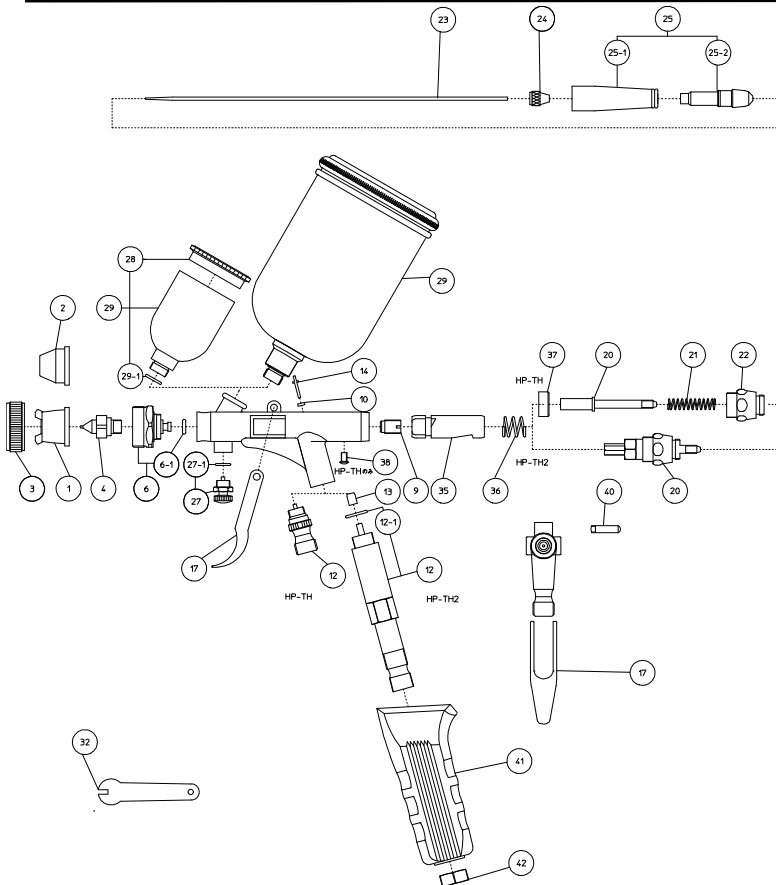
⚠ WARNING	Indicates a potentially hazardous situation which, if not avoided, may result in serious injury or loss of life.
⚠ CAUTION	Indicates a potentially hazardous situation which, if not avoided, may result in minor or moderate injury or property damage.
Important	Indicates notes which we ask you to observe. They are helpful to achieve full performance and functions of the equipment.

Specifications

MODEL	TYPE OF FEED	PATTERN	FLUID NOZZLE φ【mm】	CUP 【ml】	MAX AIR PRESSURE 【MPa】	NOTE
HP-TH	GRAVITY	Flat (Round) Pattern	0.5	15	0.2	
HP-TH2			0.6	130		

Air adjusting valve controls the amount of air flow.

PARTS LIST



No.	品名	TH	TH2
1	Air cap (Flat Pattern)	□	■
2	Air cap (Round Pattern)	□	■
3	Cover	□	■
4	Nozzle	□	■
6	Head	□	■
6-1	Head O Ring	△	△
9	Needle packing Screw	△	△
10	Piston O ring	□	■
12	Air Valve Set	□	■
13	Joint Sleeve		■
14	Valve Rod	□	■
17	Trigger	△	△
20	Needle Chuck	□	■
21	Needle Spring	□	
22	Spring Guide	□	
23	Needle	□	■
24	Needle Chucking Nut	△	△
25	Preset Cap Set	△	△
25-1	Preset Cap	△	△
25-2	Preset handle	△	△
27	Air Adjusting Valve Set	△	△
27-1	O ring	△	△
28	Lid for Cup	□	
29	Center bottle	□	■
29-1	O ring	□	
32	Spanner	□	■
35	Slide Cam	△	△
36	Slide Cam Spring	△	△
37	Main Body Ring	□	
38	Main Body Ring Screw	□	
40	Trigger Screw	△	△
41	Grip		■
42	Grip Screw		■

◆ Marked parts are wearable parts.

△ marked parts are common parts.

□ ■ marked parts are model specific parts.

When ordering parts, specify gun's model, part name with Reference number.

No. and marked No. of air cap set, fluid nozzle and fluid needle.

■ Warnings for safe operation

WARNING

Fire or explosion hazard

1. Painting job site must be free of open flames.
 - *Paint is flammable and combustible (organic solvent base paints such as lacquer or ceramic varnish).
 - *Never expose to flammable materials such as cigarettes or electrical equipment .
2. Never use the following halogenated hydrocarbon solvents which can cause cracks or dissolution on airbrush body.
 - *Improper solvents: methyl chloride, ethyl chloride, ethylene dichloride, methyl dichloride, carbon tetrachloride, trichloroethylene, 1.1.1 trichloroethylene, etc. (Be sure that all fluids and solvents are compatible with airbrush parts. We are ready to supply details of materials used in the airbrush on request.)



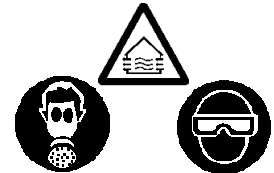
Misuse hazard

1. Never point airbrush in the direction of people body or animals except when using exclusive fluids such as body painting or nail art. If done, it can cause inflammation of the eyes or skin, or cause other physical injury.
2. Never exceed max. operating pressure of airbrush. If done, airbrush can explode and cause injury or physical injury or death.
3. Always release air pressure before cleaning, disassembling or servicing. If not, remaining pressure can cause injury by the splashing of cleaning liquid or other misuse. In order to release pressure, stop supply of compressed air to airbrush and slightly Pull the trigger.



Hazard to human body

1. Use airbrush in areas which are well-ventilated by an exhaust fan. If not, injury will occur through the inhalation of fluid, and danger of ignition will increase.
2. Always wear protective clothing or gear (eyewear, gloves, respirator, etc.). If not, cleaning liquid, etc., will come into contact with your eyes or skin and cause inflammation. If you feel something is wrong with your eyes or skin, see a doctor immediately.



Other hazards

1. Never alter airbrush. If done, it can cause failure and poor performance.
2. Never use for food industry or chemicals. If done, it can cause an accident due to corrosion of paint passage or health problem due to inclusion of foreign matter.

■ How to operate

● Connection

CAUTION

- * Use clean compressed air which is filtered through an air filter. Dirty air can cause painting failure.
- * When you use for the first time after unpacking, clean inside with cleaning liquid in order to remove remaining anti-corrosive oil inside fluid passage. Remaining oil can cause painting failure such as fish eye (dented finishing).
- * Firmly fasten air hose and fluid cup to airbrush.

If not done, disconnected hose or falling cup can cause physical injury.

- 1) Use slender and exclusive air hose for airbrush such as $\varnothing 2 \times 4$ mm tube, etc.
 - 2) Use air pressure at around 0.10~0.20 MPa . Use air regulator to get stable air pressure. Use air filter to remove moisture, oil and dust in air.
- ※ HPA-LJ (Long Joint) maybe purchased as an optional parts for better grip of the airbrush.

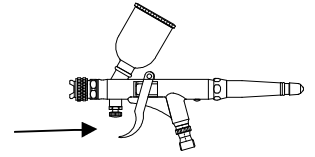
●Spraying

- Filter color material with fine filter paper (cloth), or pigments may clog nozzle.
- Never damage nozzle cap or nozzle. If done, it will adversely affect atomization.
- Do not mix different color material (example: paint and dyestuff).
If done, the viscosity will increase and cause malfunction.

- 1) Before spraying, loosen needle chucking nut and gradually push needle inwards till needle touches nozzle, and then retighten needle chucking nut. Pour cleaning liquid into cup and clean fluid passage.
- 2) Pour small amount of paint material in the paint reservoir for test spraying. While testing, make adjustment to the material flow, air flow and a pattern size.

~How to Adjust~

- ① Set the operating air pressure to approximately 0.1~0.15MPa. or {1.0~1.5kgf/cm²}
The pressure setting may vary according to the viscosity of the paint material being used.
- ② Allow 100~200mm, from the surface while using a fan pattern cap. Allow 1~200mm.
While Using a round pattern cap.



Pull the trigger. First only the air will flow and pull the trigger further for paint to flow.

■ Maintenance after Painting

●Maintenance

WARNING

- * Always completely release pressure before maintenance in accordance with warning of safe operation on page 2. If not done, remaining pressure can cause injury by the splashing of cleaning liquid or other misuse.
- * The operator must be fully conversant with the requirements in this manual and have sufficient knowledge and experience.
- * Pay full attention to the sharp tip of needle in order to avoid injury.

Maintenance procedure	Important
1. After operation, be sure to empty fluid cup and spray water or cleaning liquid for cleaning. *Then close tip of nozzle cap with finger and pour water or solvent into cup. Then if you push main lever, air flows backward into nozzle which works like gargling.	1. Incomplete cleaning can cause adverse pattern shape and particles. *Be careful with handling of the tip of needle and nozzle since they are very weak.
2. Pull out needle and remove foreign matter. Clean needle and insert it till it touches nozzle. Clean other parts with attached brush soaked with cleaning liquid and waste cloth.	2. Never immerse the whole airbrush into liquid such as thinner. *Immersion for a long time can damage O ring or packing. *Never damage holes of nozzle cap, nozzle, or needle. If done, it can influence atomization adversely.
3. Fully clean fluid passage before disassembly.	3. Remove fluid nozzle while pulling needle with main lever pulled (toward you), in order to protect seat section.

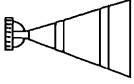

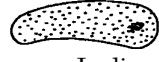



●Inspection

Where to inspect	When to replace parts
1. Each hole passage of cap and nozzle	*Replace if damaged or deformed.
2. Packing or o rings	*Replace if damaged or worn out.
3. Seat section between nozzle and needle for leakage	*Replace if there is still leakage even after you clean nozzle and needle. If you replace nozzle or needle only, first match up nozzle and needle to see if there is any leakage. *When replacing nozzle, use exclusive tool and gradually tighten. Use of other tools can cause breakage of thread or incomplete centering.

●R1: retighten R2: adjust R3: clean R4: replace parts

Problems	Place of problem	Where to check	Causes	Remedies			
				R1	R1	R1	R1
Paint leaks	tip of brush	fluid nozzle~ fluid needle	dirt, damage, wear on seat			○	○
			insufficient nozzle tightening	○			
		needle spring~ needle spring case	wear on needle spring				○
			loose needle packing screw	○			
		needle ~ fluid needle packing screw	needle does not return due to paint buildup on fluid needle.		○	○	
	needle~needle chucking nut	loose needle chucking nut	○				
	main lever	needle packing	damage to or wear on fluid needle packing				○
needle packing screw		loose needle packing screw	○				
Paint does not come out.	tip of air brush	fluid nozzle	clogged		○		
		needle chucking nut	insufficient tightening	○			
		needle cap~nozzle cap	dirty needle and nozzle cap			○	
		Needle	Clogged			○	

●TROUBLESHOOTING

Spray Pattern	Problems	Remedies
 Fluttering	1. Air enters between fluid nozzle and tapered seat of gun body. 2. Air is suctioned from fluid needle packing.	1. Remove fluid nozzle to clean seat. If it is damaged, replace nozzle. 2. Tighten fluid needle packing.
 Crescent	1. Paint buildup on air cap partially clogs horn holes. Air pressure from both horns differs.	1. Remove obstructions from horn holes. But do not use metal objects to clean horn holes.
 Inclined	1. Paint buildup on air cap partially clogs horn hole or air cap center hole, or causes damage. 2. Loose fluid nozzle.	1. Remove obstructions. Replace if damaged. 2. Remove fluid nozzle and clean.
 Split	1. Paint viscosity too low. 2. Fluid output too high.	1. Add paint to increase viscosity. 2. Adjust fluid adj. knob or pattern adj.
 Heavy Center	1. Paint viscosity too high. 2. Fluid output too low.	1. Reduce viscosity. 2. Increase fluid output.
 Spit	1. Fluid nozzle and fluid needle set are not seated properly. 1. The first-stage travel of trigger (when only air discharges) decreases. 3. Paint buildup inside air cap set.	1. Clean or replace fluid nozzle and fluid needle set. 2. Replace fluid nozzle and fluid needle set. 3. Clean air cap set.

Please contact your local Anest Iwata agent for inquiries.



ANEST IWATA Corporation

3176,Shinyosida-cho, Kohoku-Ku,
Yokohama 223-8501, Japan

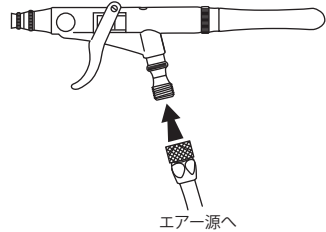
No. T454-01
コードNo. 08532642

トリガータイプエアブラシ クイックスタートガイド

詳細は下記のホームページからご確認くださいませ
www.iwata-airbrush.com

1

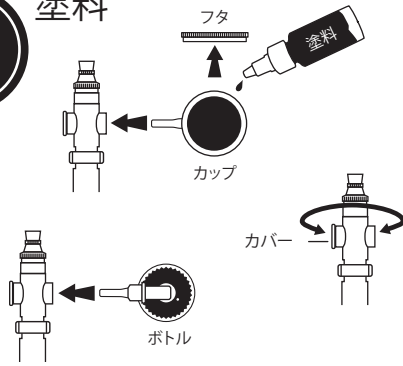
はじめに



ホースを片端をエアブラシに取り付けて、もう片端をコンプレッサに繋いでください。ミニグリップフィルタがある場合は、ホースとエアブラシの間につないでください。

2

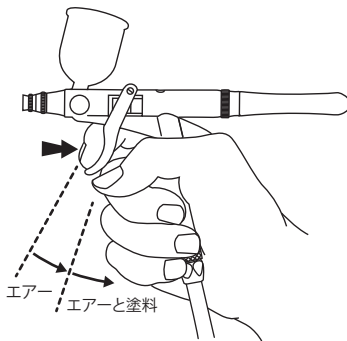
塗料



カップやボトルは左右どちらでも接続できます。接続口の反対側にはきちんとカバーを付けてください。カップやボトルをきちんとエアブラシに差し込んでください。カップのフタを外して角度を調整し、塗料を少量ずつ入れてください。ボトルタイプをご使用の方は塗料をボトルに入れてからエアブラシに差し込んでください。

3

塗装開始



コンプレッサの電源を入れてください。少しずつトリガーを引いてください。軽く引くと空気のみ、さらに引くと塗料が出ます。

細い線を描くときはコンプレッサの圧力を下げて塗面にエアブラシを近づけて、トリガーの引き代は小さくしてください。

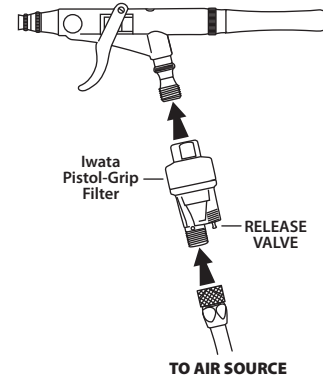
色を変える際、また作業を終了する際はエアブラシを洗浄してください。

TRIGGER AIRBRUSH Quick Start Guide

For further in-depth instruction and information, please go to
www.iwata-airbrush.com

1

BEGIN

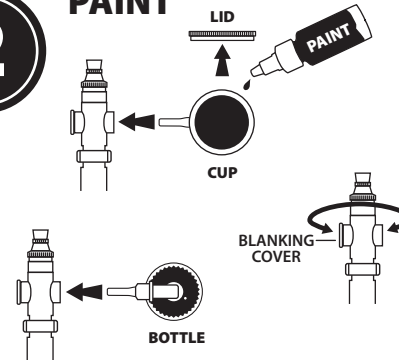


Begin by attaching the Iwata Pistol-Grip Filter (if included) to your airbrush. The comfortable Pistol-Grip Filter delivers clean, dry air to your airbrush. Evacuate moisture by pushing the release valve.

Attach the small end of an Iwata airbrush hose (sold separately) to the Pistol-Grip Filter. Then attach the other end of your airbrush hose to your air source. (Compressor sold separately.)

2

PAINT

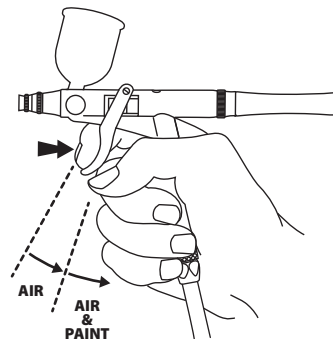


Cups or bottles can be used on either side of airbrush by interchanging blanking cover. Blanking cover needs to be on opposite side of cup or bottle to spray.

Push color cup into airbrush. Angle to position and with lid removed, add a small amount of paint. If using a bottle, fill the bottle with paint and push into airbrush.

3

START AIRBRUSHING



Turn your air compressor on. Gently pull back on the trigger for air flow and then pull farther for paint spray.


For finer lines, turn the air compressor pressure (psi) down, get close to paint surface then pull back on trigger just a little.

Clean your airbrush between color changes and at the end of your work session.

CLEANING

To clean your airbrush, empty excess paint from cup. Flush out airbrush with the appropriate cleaner for your medium (such as airbrush cleaner) or use water (good for water-based mediums) and spray airbrush until it sprays clear. Wipe out cup as necessary.

For bottles, replace with a bottle containing cleaning solution and spray until the solution is clear and clean.

 NEVER soak your entire airbrush in any liquid. NEVER store your airbrush with spray medium or cleaning agents in the fluid cup.

NEED ASSISTANCE ?

If you have any issues or warranty service questions, contact your local ANEST IWATA affiliate before returning to your place of purchase.

ANEST IWATA-MEDEA, INC.
Portland, Oregon U.S.A.
+1-503-253-7308 (M-F)
info@iwata-medea.com
www.iwata-airbrush.com

ANEST IWATA SOUTH-EAST ASIA CO., LTD.
Bangkok, Thailand
+66-(0)-2643-2870
www.anest-iwatasoutheastasia.com

ANEST IWATA SOUTH AFRICA (PTY) LTD.
Johannesburg, Republic of South Africa
+27-11-463-2169/2265/2223
www.anest-iwata.co.za

ANEST IWATA CORPORATION
Yokohama, Japan
+81-(0)45-591-1111
www.anest-iwata.co.jp

ANEST IWATA STRATEGIC CENTER
Cardano al Campo, Italy
+39-0331-733120
www.anest-iwataeu.com

ANEST IWATA SHANGHAI
Shanghai, China
+86-(0)21-6407-9713 / 15 / 16
www.anest-iwata-sh.com

ANEST IWATA RUS LLC
Moscow, Russia
+7-495-938-77-28
www.anestiwata.ru

ANEST IWATA AUSTRALIA PTY LTD.
Mt. Druitt, NSW
+61-(02)-9853-2000
www.anest-iwata.com.au

ANEST IWATA (U.K.) LTD.
Neots Cambs, England
+44-(0)1480-405419
www.anest-iwata.co.uk


ANEST IWATA MOTHERSON LTD.
Uttar Pradesh, India
+91-(0)120-4600500 / 14 / 17
www.aircompressors.com

CENTURY TRADING CO., LTD.
Seoul, Korea
82-2-2163-0300
www.centurading.co.kr

エアブラシの洗浄

洗浄の際はカップに残った塗料を出してから、洗浄液(水性の塗料は水で洗浄可能です)を何度か捨て吹きをして、液体が綺麗になるまで繰り返ししてください。

ボトルタイプをご使用の場合は、洗浄液の入ったボトルに付替えて同様の作業を行ってください。

 エアブラシ全体を液体に浸さないで下さい。カップに塗料、洗浄液、などを入れたままエアブラシを保管しないで下さい。

困ったときは?

各地の支店・営業所、もしくはご購入された販売店までお問い合わせください。

お問合せは

 **アネスト岩田株式会社**

札幌駐在所 TEL 011-831-6141 FAX 011-831-6144

東北営業所 TEL 022-284-1257 FAX 022-208-5930

北関東支店 TEL 0480-96-7001 FAX 0480-96-7003

関東支店 TEL 045-595-3660 FAX 045-595-3661

中部支店 TEL 052-412-3221 FAX 052-412-3229

関西支店 TEL 06-6458-5971 FAX 06-6458-5978

福岡営業所 TEL 092-433-1085 FAX 092-433-1103

お客様
相談室



0800-100-1926

ホーム
ページ

<https://www.anest-iwata.co.jp>

※携帯・PHSからもご利用いただけます。



iwata
by ANEST IWATA



iwata
by ANEST IWATA